

## 第115回 津久井城山ハイキング

事務局 礒川 賢  
令和7年4月6日(日) 曇り

4月6日(日)、東塗商ハイキング同好会による津久井城山ハイキングが実施されました。春のハイキングは毎年、桜の名所を訪ね、お花見を兼ねてのハイキングです。過去の記録を見るとコロナ禍前は桜の時期を逸した年も何年かありましたが、令和3年以降は青梅丘陵→石垣山→大野山→太平山と4年連続で桜満開のタイミングで実施されており、幹事の皆さんの桜開花予想は気象庁や民間の気象情報会社顔負けの確立です。さて今年は・・・

今回のハイキング参加者は、礒部さん、石井さん、大井さん、高橋さん、原夫人、山本元事務局長ご夫妻、前田元事務局長、私(礒川)の9名、そして打ち上げ会からの参加者は、原主人とOBの大根田さんの2名で合計11名の参加です。

JR横浜線の橋本駅北口に集合でしたが、集合時間の20分前には全員が集まっていました。天気予報では午後から雨模様とのことでしたので、予定より30分早い9時17分発の神奈中バスに乗りこみ、約25分程度で津久井湖観光センター前バス停に到着しました。目の前には津久井湖が広がり、湖畔周辺は桜が今を盛りと咲き誇っています。今年も桜満開のドンピシャのタイミングでした。

ここから津久井城山をめざします。この県立津久井湖城山公園は、戦国時代の山城「津久井城」跡である城山と城山ダム両岸一帯に広がる自然と歴史の宝庫で、「津久井城」は戦国時代には小田原北条氏につかえた内藤氏が城主をつとめ、豊臣秀吉による小田原攻めにより落城し、江戸時代初頭には麓に陣屋がおかれしました。城山にはその当時の遺構が今も眠っています。

スタート地点での集合記録写真を撮り、出発となりました。車いすでも散策できる湖畔展望園路をゆっくりと進みます。ピンクの桜、黄色のヤマブキ、そしてニリンソウやオオイヌノフグリなどの春の野草を愛でながら、ちょっとした森林浴気分が上がっていくと、30分くらいで根小屋地区パークセンターに到着しました。ここで小休止、施設内ではムササビなどの動物の生態が学べたり、城山全体のジオラマや甲冑などの展示もありました。

パークセンターを出発し、ここから登山道に向かいます。家族連れで楽しめそうな大型すべり台や大型複合遊具などの遊具がある四季の広場の横を通り、少し行くと展望広場に出ます。ここからは丹沢のパノラマが広がり、気分爽快です。少し上ると男坂と女坂の分岐点に出ました。おススメは男坂とあり、ここからはちょっと険しい登山道になりました。私は数年前からの膝の故障で昇り降りに自信がなく、ここで引き返そうか迷いましたが、いつになく調子

が良かったので、皆さんの後について登り始めました。幹事の大井さんに気遣って頂き、所々で小休止していただいたおかげで、パークセンターから小一時間で、無事に山頂までたどり着くことが出来ました。皆さんありがとうございました。

城山山頂は土塁や曲輪など津久井城の痕跡を感じられる地点で、満開のソメイヨシノも楽しめ、津久井湖を挟んだ新緑の山々には淡いピンク色のヤマザクラが転々と咲き、素敵な景色を堪能できました。

記念撮影後、石井さんから皆さんに黒ビールが配られ、磯部さんには美味しい紅茶を沸かしていただき、それぞれのお菓子やおつまみの差し入れで、皆さん楽しい昼食となりました。

下山は同じ、登山道を下り、1時間程でスタート地点の津久井湖観光センター戻ってきました。帰りのバスが来るまで、思い思いに桜の写真を撮ったりして、湖畔の花見を楽しみました。最後まで雨も降らず、快適な山歩きができました。

さて、バスに揺られて橋本駅北口まで戻り、楽しみにしていた打ち上げは、原ご夫妻ご紹介の寿司屋「鷹寿司」で行いました。すでに予行演習を済ませていた原主人と大根田さんにお出迎えいただき、大井さんの乾杯で打ち上げ会のスタートです。ビールや焼酎、ウーロン茶などを飲みながら、新鮮な刺身とお寿司、鯛かぶとの塩焼き、茶わん蒸しなど美味しい料理に舌鼓を打ち、締めは寄せ鍋と、まるで忘年会か新年会と思うほど大いに盛り上がりました。最後に次回のハイキングを決め、橋本駅にて解散となりました。

2025年の最初のハイキングは天候にも恵まれ、とてもいいお花見ハイキングでした。皆さんお疲れさまでした。そしてありがとうございました。

